

企画部会審議結果

(静岡県環境審議会 企画部会)

令和6年11月1日に開催した第1回企画部会において、第4次静岡県環境基本計画の進捗状況について審議したので、結果を報告する。

1 現状評価状況

(1) 成果指標

18項目のうち、14の指標(78%)が目標達成に向け順調に推移。

区 分	指標数(達成状況区分別)					計
	目標値以上	A	B	C	基準値以下	
ア 脱炭素社会の構築	0	1	3	1	1	6
イ 循環型社会の構築	2	0	0	0	1	3
ウ 良好な生活環境の確保	1	0	1	0	0	2
エ 自然共生社会の構築	1	0	3	1	0	5
オ 環境と調和した社会の基盤づくり	2	0	0	0	0	2
計	6	1	7	2	2	18

(2) 活動指標

51項目のうち、40(うち2つは再掲)の指標(78%)が目標達成に向け順調に推移。

区 分	指標数(達成状況区分別)					計
	目標値以上	A	B	C	基準値以下	
ア 脱炭素社会の構築	7	1	8	2	2	20
イ 循環型社会の構築	1	0	2	3	0	6
ウ 良好な生活環境の確保	3	1	2	0	2	8
エ 自然共生社会の構築	4	0	6	1	1	12
オ 環境と調和した社会の基盤づくり	4(1)	0	1(1)	0	0	5(2)
計	19(1)	2	19(1)	6	5	51(2)

() は再掲指標の内数

2 意見等

区 分	内 容
脱炭素社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電設備や蓄電池等の導入が進むような事業者支援を。 温室効果ガス排出削減に取り組む事業者の認証制度は、クルポ等と連携させながら事業者のメリットに繋がる取組を検討するとよい。
循環型社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> CNFは自動車部品以外の幅広い分野への応用も検討するとよい。
良好な生活環境の確保	<ul style="list-style-type: none"> PFASは県民の関心も高く、国の暫定基準含め説明がつくような科学的根拠の啓発等が必要。
自然共生社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> 南アルプスのYouTube動画は、優良なコンテンツが閲覧数を増やしていると感じた。

3 環境基本計画の評価指標の点検

昨年度第3回環境審議会における委員意見をもとに、第4次静岡県環境基本計画の成果指標と活動指標の関連性について点検を実施した。

併せて、総合計画の目標値と相違が生じている指標について文言等を統一した。